【学校の教育目標】

1． 専門的技能を修得させると同時に、広く一般社会人としての教養を身につけさせる。

2． 勤労に対する正しい信念の確立と社会に役立つ優秀な人材を育成することを目的とする。

3． 社会の変化に対応できる幅広い視野をもち、多様な価値観やニーズを理解する能力を身につける。

【各学科の重点目標】

美 容 学 科	・美容師国家試験合格率 100%を目指す ・職業人としての倫理観を育成する
危機管理学科	・公務員採用試験合格率 100%を目指す ・公務員になるための学力、資質を育む
国際交流学科	・国境にとらわれない視点、発想を学び世界で活躍できるコミュニケーション能力と行動力を身につける

学校自己評価報告書

＊評価　A:適切、B:ほぼ適切、C:やや不適切、D:不適切、E:該当なし

1. 教育理念

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	A	学則を基に、各学科の重点目標を定めている	
2	学校における職業教育その他教育指導の特色は明確か	A	専門分野の講師による授業を取り入れ、専門技術の向上を図っている	
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の未来構想を抱いているか	A	専門職に対する社会のニーズや流行の内容を授業に取り入れ指導している	

2. 学校運営

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	目的に沿った運営方針が策定されているか	A	各学科、運営方針を策定している	
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	A	理事会等で明確な事業計画が決議され、遂行されている	
3	教育活動に関する情報公開が適切にされているか	A	ホームページやパンフレット等で行っている	
4	人事・給与に関する規定等は整備されているか	A	就業規則の規定により整備されている	
5	情報システム化等による業務の効率化は図られているか	A	教務及び事務に係る管理システムを導入し効率化が図られている	

3. 教育活動

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施指針等が策定されているか	A	学科の特色を活かした教育課程、さまざまな資格取得を目指し、特色を生かしている	
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科	A	学則または各学科の細則により明確にされている	

	の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか			
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	各学科、体系的に策定している	
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	学内の他学年と教育連携し、カリキュラムに反映している	
5	授業評価の実施・評価体制があるか	B	実施していない学科もある	全学科で実施していく
6	成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	各学科の学則により基準は明確化している	
7	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A	カリキュラムでの体系的な位置づけはできている	
8	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	B	一部の学科では人材不足の学科がある	教員の確保、補充の努力をしている
9	関連分野における業界等との連携において優れた教員の確保に努めているか	A	専門分野で活躍する講師を招き、授業を実施している	

4．学生指導

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	基本的生活習慣の確立のための取り組みが行われているか	A	朝礼時に生活習慣等を指導。遅刻者等への指導は適宜実施し保護者への連絡等も行い、改善を図るよう指導している	
2	学生・保護者からの相談体制が整備されているか	A	担任や副担任が生徒からの相談に随時応じている。また、必要に応じ保護者への連絡も随時行っている	
3	通学・就職指導にかかる支援体制は組まれているか	A	遠方者にはアパート及び駐車場の斡旋を行っている。就職指導では求人票の掲示、就職フェア等の参加斡旋など、生徒への手厚い就職サポートを行っている	
4	学生の安全管理のための取組等が行われているか	A	学校保健の加入、保護者との連携体制をとっている	

5．学修成果

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	就職率の向上が図られているか	A	専門分野への就職率が向上	
2	資格取得率の向上が図られているか	B	一部の学科では達成しておらず、全員合格を目指す。	講師、教員の指導方法の改善を検討する
3	退学率の低減は図られているか	B	保護者と連携し、生活習慣を改善させ、出席率低下の防止を図っている。	教員の質の向上、教員配置の見直しを図る
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	B	在校生については面談等で把握しているが、卒業生については一部把握できていない	卒業生についても就職先と連携し、活動内容を把握していく

6．学生支援

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	A	求人票の掲示、求人媒体や、求人サイトでのリサーチなどを含め、就職に関する指導を実施	
2	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	A	学生支援機構や他の奨学金制度の案内を実施。また、入学金支援制度などを設立し、支援体制を整備している。	
3	学生の生活環境への支援は行われているか	A	入学前の生徒へアパート、駐車場のあっせん(不動産業者の紹介)などを行っている。	
4	学生の健康管理を担う組織体制があるか	B	年度当初の健康診断を実施している	スクールカウンセラーの配置を検討する
5	保護者と適切に連携しているか	A	出席不足や成績不振の事案が発生した際に速やかに保護者へ連絡する体制をとっている。	
6	社会人入学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	入学支援制度を設け志願しやすい体制にしている	
7	高校・高等専門学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	A	高校からの依頼による講師派遣、インターンシップの受入れを行っている	

7．教育環境

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	施設・設備は、教育上に必要性に十分対応できるよう整備されているか	C	校舎内の設備の老朽化が問題となっている	適宜修繕を計画していく
2	防災に対する体制は整備されているか	B	防災設備の定期点検の実施、避難経路表示灯は適切に実施しているが、避難訓練が新型コロナ感染症の影響により実施できず	感染対策を講じたうえで避難訓練を実施

8．学生の受け入れ及び募集

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	A	広報担当者による学校訪問、進路説明会参加、校内オープンキャンパスの実施等案内をしている	
2	学生募集活動は適切に行われているか	B	広報部の責任者の管理のもと、広報会議での進捗確認、学校訪問記録のチェックを行っている。	募集定員を満たすように生徒募集の質の向上を図る
3	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報が正確に伝えられているか	A	パンフレット等で資格取得や就職状況の情報を伝えている。	
4	学生納付金は妥当なものとなっているか	A	妥当なものである。	

９．財務

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	中長期的に学校の財政基盤は安定しているものといえるか	B	新型コロナウィルス感染症の影響により、留学生の受入れが不安定である	募集定員を満たすよう広報活動を充実させる。
2	予算・収支計画は有効なものになっているか	B	予算編成等は適切に行っているが、募集定員を満たすことにより収支計画の安定化を図る必要がある。	募集定員を満たすよう広報活動を充実させる。
3	財務について会計監査が適切に行われているか	A	理事会・評議委員会に於いて会計監査を適切に行っている	
4	財務情報公開の体制準備はできているか	A	決算書及び予算書は事務室に保管、希望により閲覧可能	

１０．　法令等の遵守

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	法令及び設置基準を準拠しており、適切に運営されている。	
2	個人情報に関し、その保護のための対策が取れられているか	A	学校で管理している個人情報はセキュリティ対策の取られたクラウド及びサーバーで管理されている	
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	B	今年度より実施しているが、改善点等は話し合いで検討している	

１１．　社会貢献・地域貢献

	評価内容		現状の認識、及び評価	課題と今後の改善策
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	高校からの依頼による体験実習、見学会等を積極的に受け入れている	
2	生徒によるボランティア活動を奨励、支援しているか	E	ボランティア活動等の実績なし	地域貢献、社会貢献を通し、専門性の高い人材育成にボランティア活動等が必要である。具体的な活動を今後予定したい。
3	地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	E	実施していない	具体的な内容を積極的に予定していく

学校法人盈科学園　盈科美容専門学校
専門学校 EIKA International College

学校関係者評価報告書
（令和 4 年度）

開催概要

新型コロナウイルス感染症の拡大・防止の観点から書面決議にて実施

学校関係者評価委委員　※敬称略

トモエ乳業株式会社　代表取締役社長　中田俊之
中島労務管理事務所　特定社会保険労務士　中島富士子
有限会社匠　　岩田浩二 （講師及び卒業生）
ル・シエル　代表　安田絢子 （講師及び卒業生）

学校職員

校長　　内山真由美
校長　　菊池亮一

1. 学校関係者評価委員からの意見、質疑・学校の応答

	自己評価項目	意見・質疑	学校の応答
1	教育理念、目的、人材育成	意見・質疑等はなく、適正と判断している	
2	学校運営	(質疑)コロナ禍の影響を受けている留学生数はどうか	コロナ禍の影響で当校の学生数も減少しており、入学支援制度も活用し入学生の確保に努めます。
3	教育活動	(質疑)国家試験の合格率はどの程度か	昨年度は美容師国家試験 100%
4	学生指導	意見・質疑等はなく、適正と判断している	
5	学修成果	(質疑)卒業生の活動内容の把握はどのように実施するのか	教員や講師が就職先を訪問し、職務に対する活動内容を把握していきます。
6	学生支援	意見・質疑等はなく、適正と判断している	
7	教育環境	(意見)避難訓練は、危機管理の目的から実施してください	来年度以降はコロナ禍の状況を踏まえた上で避難経路確認及び避難訓練を実施します。
8	学生の受け入れ募集	(質疑)募集定員を満たすために行っている募集活動は具体的にどのように対策をしているか	広報部の職員による学校訪問や、学科教員によるオープンキャンパスを実施している。SNS も活用し、いつもの学校の様子が伝わるよう広報活動を行っている。
9	財務	学校運営の向上のためにも学生募集に努めてくだ	

		さい	
10	法令等の遵守	意見・質疑等は特になく、適正と判断	
11	社会貢献・地域貢献	(意見)ボランティア活動及び地域に対する講座等、活動に積極的に実施するべきではないか。	新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点からも、活動自体を消極的に考えていた。講ずべき対策を施したうえで、積極的に活動に参加させたい。